

機械設備工事特記仕様書

(○印を付けたものを適用する。)

建築概要

工事名称

名張産業振興センター（3階）冷暖房設備改修工事

工事場所

名張市内

建物名称	構造	階数	敷地面積（㎡）	備考
事務所、集会所	S造	4		

(工事概要)

建物3階の「ロビー情報コーナー」、「青年部 婦人会室（現 B会議室）」、「和室」における冷暖房設備を既設GHPシステムからEHP（単相200V）システムに変更改修する。

一般事項

適用仕様書

・日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」最新年度版
・空調調和・衛生工学会規格「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」最新年度版
○国土交通大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書」令和7年度版

優先順位

1. 現場説明事項・質疑応答書
2. 本特記仕様書
3. 設計図書
4. 工事共通仕様書

申請手続

工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。

疑義

設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点疑義についてはその都度監督員と協議する事。

変更

設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては本工事に含むものとする。

完成図書

工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出する事。

耐震基準

日本建築センター編「建築設備耐震設計・施工指針」による事。

特記事項

・地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。

○機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。

・防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用する事。

・建物導入配管（給水・ガス・消火）は十分な可撓性を有する変位吸収配管施工を行う。

・水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはVP管、他は経製等のスリーブを使用する事ができる。

・排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路部600mm以上とする。

○既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、鉄筋探査を行った上ダイヤモンドカッターによるものとする。

・土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。

○屋外露出及び多湿箇所（トレンチピット等）の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

・機器・配管・支持金物において、異種金属が接する部分には、絶縁処理を行う。

・屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（SUS）とする。

○監督職員の指示する時期に施設関係者の立会いを行うものとする。

共通事項

保温工事

○保温施工範囲は共通仕様書による。

・保温施工種別

○共通仕様書による。

・下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）

屋内露出	グラスウール保温筒	樹脂カバー仕上げ	
屋外露出・多湿箇所	PS保温筒	SUS鋼板仕上げ	
天井・PS内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス	
床下・階渠内	PS保温筒	アルミガラスクロス	
・保温の厚さ	・共通仕様書による。		
・下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）			
給排水管・給湯管・温水管・ドレン管	80A以下	20mm	
消火管（但し図示に特記ある場合のみ）	100～150A	25mm	
	200A以上	40mm	
		250A以下	50mm

・冷媒配管の屋外露出部はSUS鋼板仕上げとする。 ○冷媒配管の屋外露出部は化粧ケース仕上げとする。

工事種別

	屋外	屋内（ ）	屋内（ ）	屋内（ ）	屋内（ ）
空調設備					
・機器設備	○	○			
・配管設備	○	○			

機器設備

○指定機器

○空気調和機パッケージ型空調機 三菱電機 ダイキン工業 日立グローバルライフソリューションズ

○設計空気条件

(特記なきは建設省
建築設備設計基準による)

・外気 <夏期> ℃ % <冬季> ℃ %
・室内 <夏期> ℃ % <冬季> ℃ %

○熱源機器

・一般系統の湿度は成り行きとする。
・冷水水発生機 ・チラー（・空冷HP ・空冷 ・水冷HP ・水冷）
・温水ボイラー ・水蓄熱

・放熱機

○空冷HPパッケージ ・ガスHPパッケージ ・FCU ・AHU

・その他

・

配管設備

・配管方式

○冷媒配管 ・冷水水配管 ・冷却水配管 ・温水配管

・配管材料

・冷媒管 ・冷媒用銅管 ○冷媒用被覆銅管
・冷水水管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・耐熱性硬質塩ビライニング銅管
・冷水・温水管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・耐熱性硬質塩ビライニング銅管
・冷却水管 ・硬質塩ビライニング銅管（・VA・VB）
・ドレン管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニール管（VP）
・油管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ○硬質塩化ビニール管（VP）
・蒸気管 ・配管用炭素鋼鋼管（黒） ・外面塩ビ被覆銅管（VP）
・配管用炭素鋼鋼管（黒）

・弁類

・JIS 5 kgf/cm² ・JIS 10 kgf/cm²
呼び径100A以上の弁は係員と協議の上バタフライ弁を使用してよい。

・その他

・

ガス設備

ガスの種別

○都市ガス（種別 13A 発熱量11,000 kcal/m³
供給事業者名 ）
・液化石油ガス（発熱量 12,000 kcal/kg）
・配管用炭素鋼鋼管（白）
・ビニル被覆銅管（地中埋設部）
・ポリエチレン管（屋外地中埋設部）
○供給事業者の仕様による。
・別途 ・本工事
ボンベ（・10 Kg ・2,0 Kgバルク）
転倒防止鎖等（・本工事 ・別途工事）
・要（・電気式 ・温水 ） ・不要
・貸与品 ・買取品
・本工事 ・別途工事
・要（・別途工事 ・本工事）
・一般形、不要 自動遮断弁付

設備設計

株式会社 昂設計

工事名

名張産業振興センター（3階）冷暖房設備改修工事

図面番号

1/

設計番号

M-01

縮尺

A2:1/NS
A3:1/NS

2026. 8

名張商工会議所
総務管理課

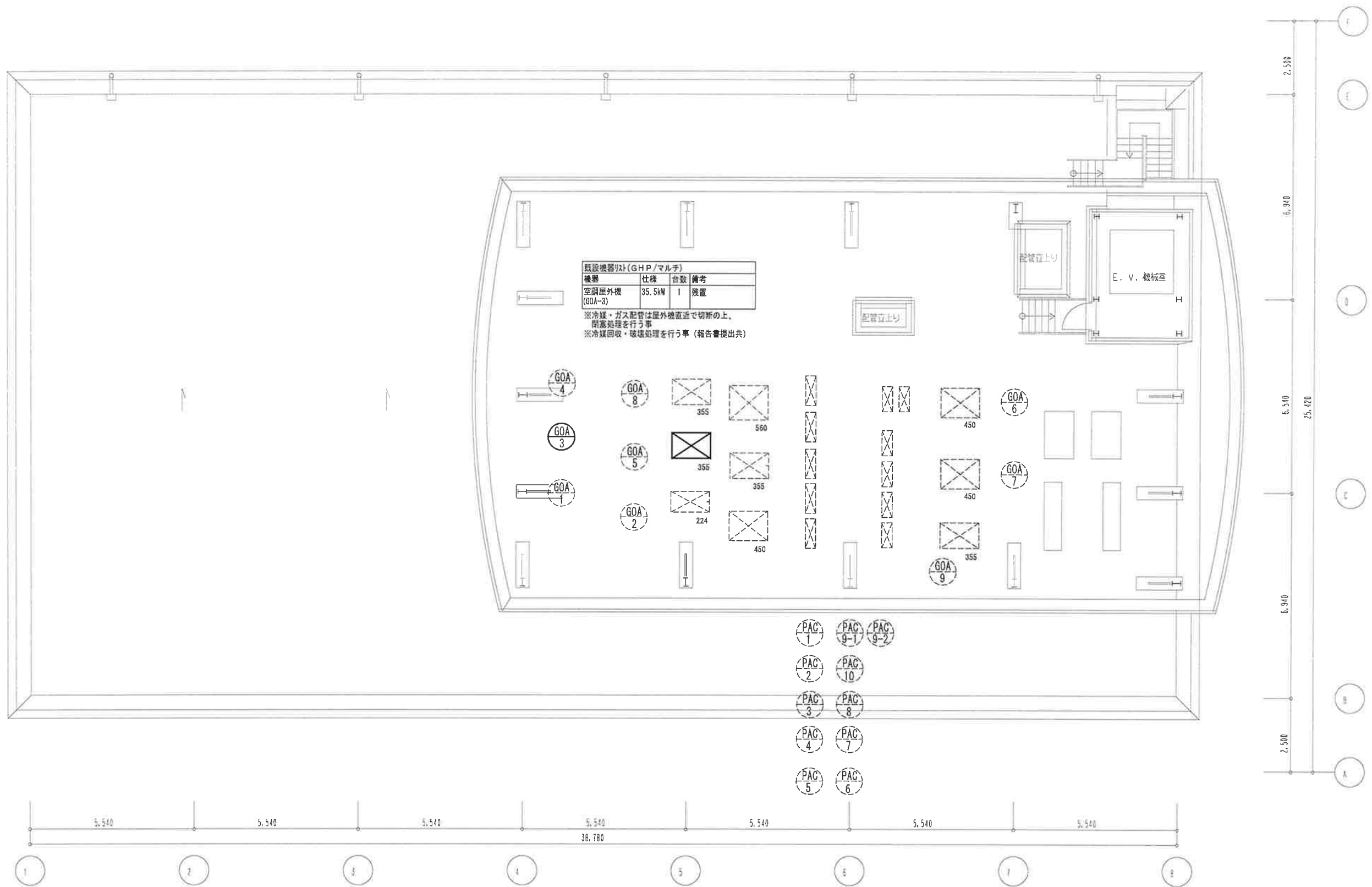
原設計図書著作権譲渡済

（機械設備）特記仕様書

機器番号	機器名称	形 式 ・ 仕 様	電 気 容 量			台数	設置場所及び備考
			電源	圧縮機	消費電力		
			(V)	(KW)	(KW)		
AC-1	ルームエアコン	形 式 壁掛け型	1-200	2.40	冷 3.20	2	青年部婦人会室
		冷房能力 定格 9.0 (0.9~9.1) kW			暖 3.20		吐*情報コーナー
	MSZ-ZXV9026S-W	暖房能力 定格 10.6 (0.8~12.1) kW			低温 3.77		
		付属品 リモコン対応、他一式共					
		基礎 既製コンクリート基礎、転倒防止金物					
AC-2	ハウジングエアコン	形 式 床置き型	1-200	1.70	冷 2.33	1	和室
		冷房能力 定格 6.3 (0.8~6.5) kW			暖 2.16		
	MFZ-K6326AS-B	暖房能力 定格 7.1 (0.8~9.2) kW			低温 2.7		
		付属品 置台、背面パネル、リモコン対応、他一式共					
		基礎 既製コンクリート基礎、転倒防止金物					

注記 ※室外機～室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とし、リモコン配線共本工事とする。
 ※消費電力は参考とする。





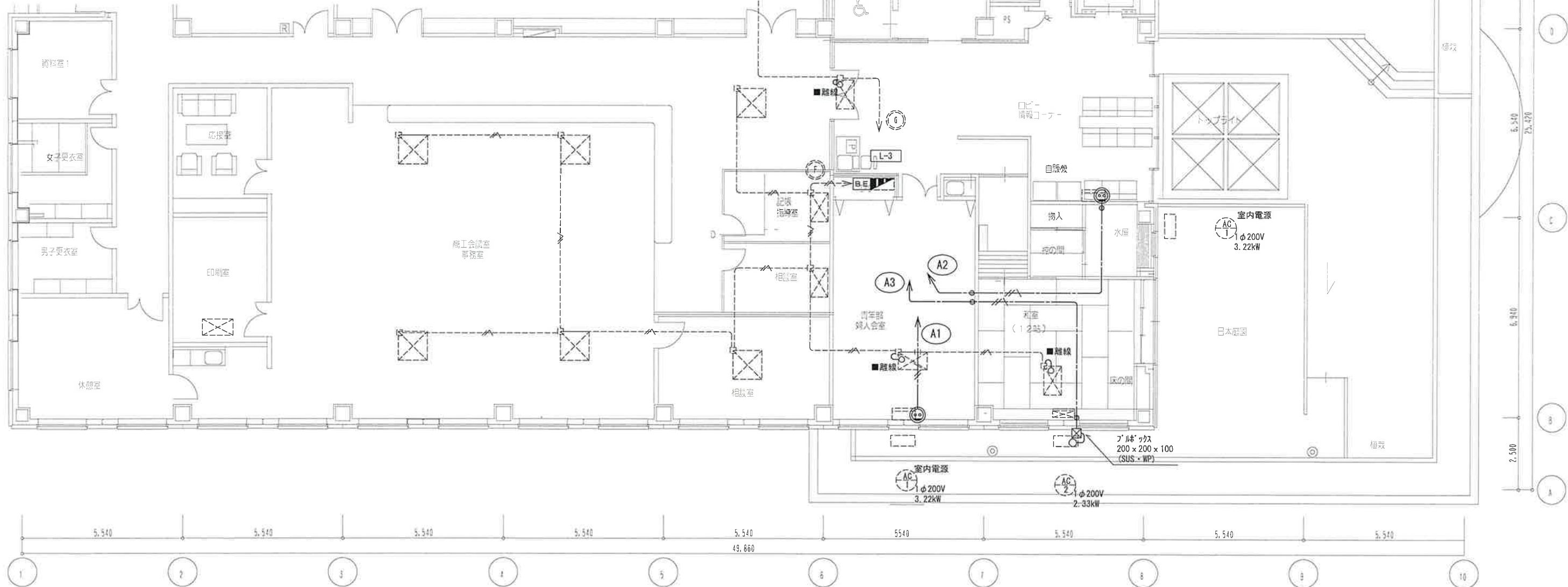
改修R階平面図 1/100 (A2)

電気設備工事特記仕様書		15 再使用機器	23 機材の品質	25 室内空気中の化学物質の濃度測定	構内配電線路	
I. 工事概要		16 完成図書等	24 環境への配慮	受変電設備	電気時計設備	
2. 建物概要				発電設備	テレビ共同受信設備	
建物名称		構造	階数	床面積 (㎡)	消防別表第一	備考
事務所、集会場		S造	4階			
3. 工事種別 (○印のあるものを適用する)						
建物別及び屋外		工事種別				
工事項目		電気				屋外
受変電設備						
発電設備						
電灯設備		○				
動力設備		○				
雷保護設備						
電力貯蔵設備						
構内配電線路						
電話設備						
インターホン設備						
拡声設備						
電気時計設備						
テレビ共同受信設備						
トイレ呼出設備						
火災報知設備						
構内通信線路						
映像・音響設備						
監視カメラ設備						
構内LAN設備						
その他						
II. 工事仕様						
1. 共通仕様						
1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁庁舎部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備編）（最新版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）」（以下「標準図」という。）による。						
2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書、標準図を適用する。						
2. 特記仕様						
1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。ただし、共通事項は全て適用する。						
2) 記事項は＊印のものを適用する。						
3) ただし＊印の記事で■印がある場合は■印を適用する。						
分類	項目	記事				
共通事項	1 工事用仮設	＊ 工事区分による。 ＊ 別契約の関係受注者が設置した足場、機材類は利用できる。				
	2 工事用水	構内既存の施設 ＊ 利用できない（改修を含み全て受注者の負担とする） ＊ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償 ） ＊ 工事用水については、敷地内メーター以降にサブメーターを取付け、毎月使用量を監督職員に報告すること。 注）引渡しまでの費用負担も本工事に含まれる。（無償の場合は除く）				
	3 工事用電力	構内既存の施設 ＊ 利用できない（改修を含み全て受注者の負担とする） ＊ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償 ） 注）本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の設定及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。（無償の場合は除く）				
	4 電気工事士	受電区分 ＊ 高圧受電 ・ 低圧受電 ＊ 電気工事主法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても第一種電気工事士により施工するものとする。				
電気保安技術者	5 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安業務を行うものとする。				
	6 電気主任技術者	受電予定日 令和 年 月 頃 ＊ 要 ・ 不要				
	工事期間中の選任	＊ 工事の着工、施工、完成に必要な手続きは全て受注者の責任とし、その費用は受注者の負担とする。				
	7 官公庁その他手続き	＊ 電力及び電話引込線等の位置及び引止方法については、関連会社と打合せの上、監督職員との協議により決定する。				
電力等の引込	8 電力等の引込	＊ 電力及び電話引込線等の位置及び引止方法については、関連会社と打合せの上、監督職員との協議により決定する。				
	9 発生材の処理等	＊ 電気設備特記仕様書「E01 発生材の処理等」による。 ＊ 建築工事特記仕様書「建設廃棄物」による。 ＊ P3使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す。				
	10 既設との取合い	＊ 本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は本工事に含む。				
	11 埋戻し土並び発生土処理	＊ 掘切土の中の良質土 ＊ 山砂類 ＊ 再生切込砕石 (RC-40) ＊ 場内指示場所に数均し ＊ 場内指示場所に堆積 ＊ 場外搬出適正処理				
地中埋設	12 地中埋設	＊ 管の上下50mmは山砂の類で埋め戻し、300mm毎に軽圧すること。 ＊ 地中配管・配線には標準シート等（2倍）を設ける。				
	13 構内配電線路架空電線	＊ 道路（車両の往来がまであるもの及び歩行の用にのみ供される部分を除く）を横断する場合は路面より6m以上、屋外用照明であって、絶縁電線又はケーブルを使用した場合電圧150V以下のものを交通に支障のないように施設する場合は地表より4m以上、低圧架空電線を道路以外の場所に施設する場合は地表より4m以上、その他の場合は5m以上とし、これによりがたい場合は監督職員との協議により決定する。				
	14 構内通信線路架空電線	＊ 道路を横断する場合は路面より5m以上とする。ただし、交通に支障を及ぼすおそれが少ない場合で工事中やむを得ないときは、歩道と車道との区分がある道路の歩道上においては路面より2.5m以上、その他の道路においては4.5m以上とする。 上記、道路以外の部分については路面より3.5m以上としこれによりがたい場合は監督職員との協議により決定する。				
	15 再使用機器	＊ なし ・ 清掃後、絶縁抵抗を測定する。 工事完成後速やかに提出すること。提出書類はA版とする。 ＊ 完成図書 2部 （ファイル綴じ） 1. 機器取扱説明書 2. 主要機器図、製作図 3. 機器性能試験成績書 4. 官公署届出書類等 5. 監督職員の指示ある書類 ＊ 竣工図（設計図データの修正図） 1. 製本（＊原設計サイズ（3部） ＊A3縮小版（4部）） 2. 原図（＊原設計サイズ ・A3縮小版）のトレーシングペーパーを1部 3. CADデータ（＊dwg形式、＊dxf形式 又は ＊jww形式）のCDを1部 ＊ 竣工図 1. 製本（＊原設計サイズ（2部） ＊A3縮小版） 2. CADデータ（＊dwg形式、＊dxf形式 又は ＊jww形式）のCDを1部				
完成図書等	17 機材等	＊ 受変電設備の線は（ ＊ 200番 ・ タキゲンA-310-I or 3）とする。 ＊ 受変電設備を除く線の線は（ ＊ 200番 ・ タキゲンA-310-I or 3）とする。 ＊ 屋外及び高温多湿面所の電気線はSUS製とする。 ＊ 電気盤、機材及び配管等の塗装は（ ・ 有 箇所は図示による ・ 無し） ＊ 電気盤、機材及び配管等の塗装色は、監督職員の指示による。 ＊ 屋内施工で使用する塗料はF☆☆☆☆とする。 ＊ 配線器具の位置ボックスは大角型とし、スイッチは（ ＊ ヲリ形 ＊ ネーム付）とする。 ＊ 配線器具のプレートは、図示なき場合一般は新金属製、1階作業用はスチール製とする。 ＊ フロアボックスのプレートは（ ・ アルミダイカスト製 ・ 鋼合金製）とする。 ＊ 配管の使用区分は図示なき場合次のとおり。 屋内幹線（隠蔽、打込み） ……E 屋内幹線（露出） ……C 屋外（地中） ……F 屋外（露出） ……G、HIVE 屋外（立上り） ……PEG、HIVE H・H～電 ……FEP、HIVE 屋内分岐 ……P 屋内分岐（露出） ……C、P、メタルモール 屋内分岐（多湿） ……HIVE ＊ 屋内多湿面所の支持材はSUS製とする。 ＊ 屋外支持材はSUS製とする。 ＊ 露出配管をサドル止めする場合は両サドルとする。 ＊ マンホール、ハンドホール、プルボックス、室内及びその他要所のケーブルには、合成樹脂製またはファイバ製の表示札、表示シート等を取り付け、回路の識別、先行等を表示する。 ＊ 機器を収めしないボックス等には用途表示を行う。 ＊ スリーブ施工において外壁の地中部分等水密を要する部分については、スリーブ用止水リングを使用した塩ビ管で施工してもよい。 ＊ 建物の仕上及び性能に係わる部分の施工については、専門業者で行うものとする。 ＊ あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針による。 アンカーの試験方法 ＊ 目視検査 ＊ 接触検査 ＊ 打音検査 ＊ 非破壊試験 ＊ 破壊試験 アンカーの試験本数 ＊ ※※本 ＊ 全体0.5% ＊ 各径につき1ロット3本以上				
	18 あと施工アンカー	金属製電線管の塗装・仕上げ ＊ 屋内 ＊ 屋外 ＊ 図示 ＊ なし				
	19 金属製電線管の塗装・仕上げ	スリーブの径は、原則として、管の外径(保温厚含む)より40mm程度大きなものとする。下記の場合以外は、亜鉛鉄板、つば付鋼管、又は鋼管(SGP-白)とする。 ＊ 外壁の地中部分等、水密を要する部分 つば付鋼管、防水鉄板等又はゴム系止水材ビニル管（VU） ＊ 地中部分で、水密を要しない部分 ＊ 柱及び梁以外で、開口補強が不要、かつφ200以下の部分 紙製板等可能 ＊ 既存の有筋コンクリート床、壁等にダイヤモンドカッターを用いて穴あけを行う場合は事前に走査式埋設物調査を行い監督職員に報告すること。 ＊ 配管の支持間隔は、次による。				
	20 スリーブ	支持間隔				
21 支持間隔	種類 支持間隔 備考					
支持						

空調機器表

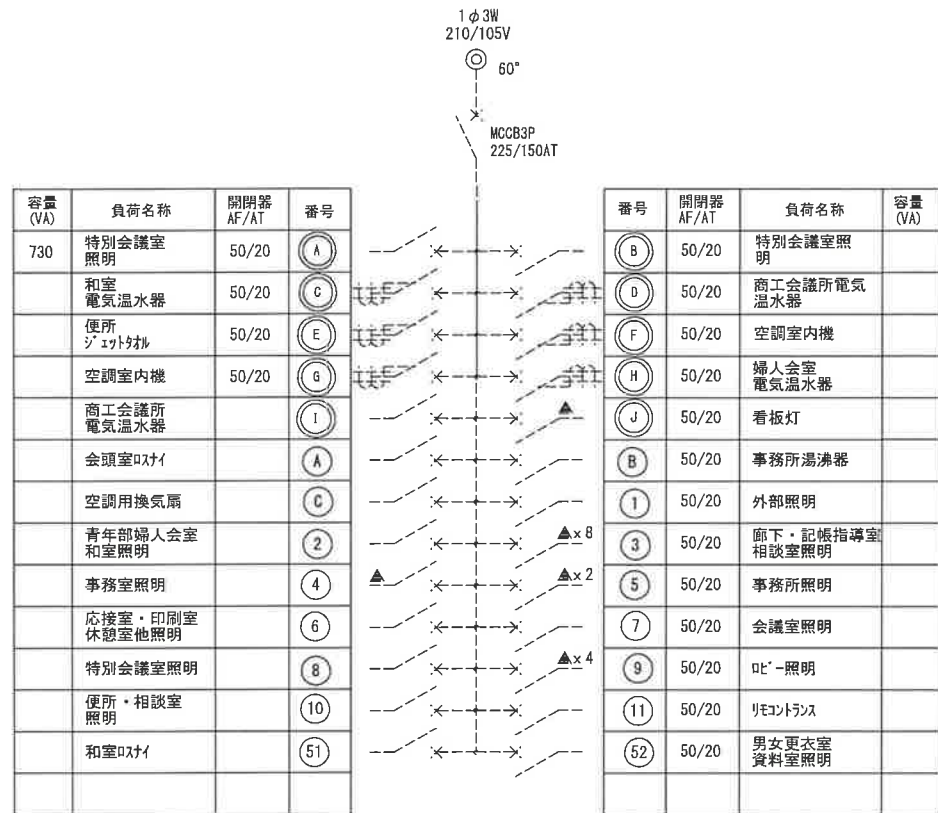
機器番号	機器名称	形式・仕様	電気容量			台数	設置場所及び備考
			電源 (V)	圧縮機 (KW)	消費電力 (KW)		
AC-1	ルームエアコン	形式 壁掛け型	1-200	2.40	冷 3.20	2	青年部婦人会室 吹・情報コーナー
		冷房能力 定格 9.0 (0.9~9.1) kW			暖 3.20		
		MSZ-ZXV9026S-W			低温 3.77		
		付属品 リモコン付、他一式共					
AC-2	ハウジングエアコン	形式 床置き型	1-200	1.70	冷 2.33	1	和室
		冷房能力 定格 6.3 (0.8~6.5) kW			暖 2.16		
		MFZ-K6326AS-B			低温 2.7		
		付属品 置台、背面パネル、リモコン付、他一式共					
		基礎 既製コンクリート基礎、転倒防止金物					

注記 ※室外機～室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とし、リモコン配線共本工事とする。
※消費電力は参考とする。

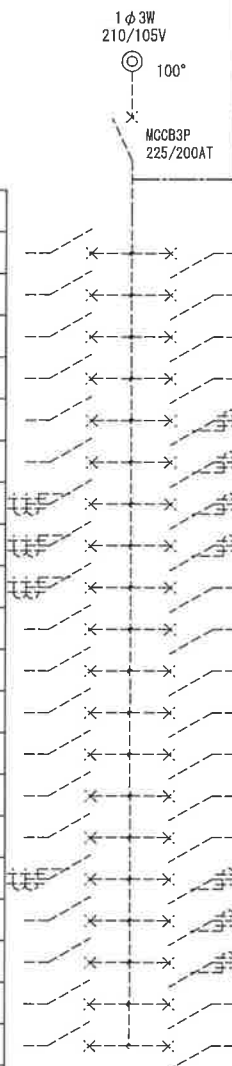


- 1・特記なき配管配線は下記による。
- : VVF2.0-3C(10-E) ころがし配線
- 破線----- 表記は既設を示す。
- 保護管にて保護箇所(壁貫通部)を示す。

凡例		
記号	名称	備考
■	電灯盤	
Ⓢ	壁付コンセント 2P15A, 20A兼用接地端子付	250V
BE	増設分電盤	



容量 (VA)	負荷名称	開閉器 AF/AT	番号
	特別会議室コンセント	50/20	(11)
	事務室コンセント	50/20	(13)
	会議室コンセント	50/20	(15)
	記帳指導室コンセント	50/20	(17)
	和室コンセント		(19)
	青年部婦人会室ロスタイコンセント		(21)
	自販機		(23)
	便所コンセント		(25)
	便所コンセントウォシュレット		(27)
	事務室コンセント (床)		(29)
	事務室コンセント (床)		(31)
	印刷室コンセント		(33)
	"		(35)
	湯沸室 コンセント		(37)
	通路 コンセント		(39)
	便所 コンセント		(41)
	スクリーン プロジェクター		(43)
	庭園コンセント		(45)
	便所センサー		(47)
	特別会議室スクリーン		(49)

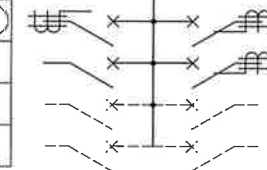


番号	開閉器 AF/AT	負荷名称	容量 (VA)
(12)	50/20	特別会議室コンセント	
(14)	50/20	特別会議室コンセント (床)	
(16)	50/20	資料室・更衣室休憩室コンセント	
(18)	50/20	青年部婦人会室コンセント	
(20)	50/20	控えの間 水屋コンセント	
(22)	50/20	自販機	
(24)	50/20	便所コンセント	
(26)	50/20	便所コンセントウォシュレット	
(28)	50/20	事務室コンセント (床)	
(30)	50/20	事務室コンセント (床)	
(32)	50/20	事務室・応接室コンセント	
(34)	50/20	印刷室コンセント	
(36)	50/20	印刷室コンセント	
(38)	50/20	情報コーナーコンセント	
(40)	50/20	ロビー ライト	
(42)	50/20	便所 コンセント	
(44)	50/20	水屋電磁調理器	
(46)	50/20	水屋電磁調理器	
(48)	50/20	特別会議室 ファン	
(50)	50/20	警備	

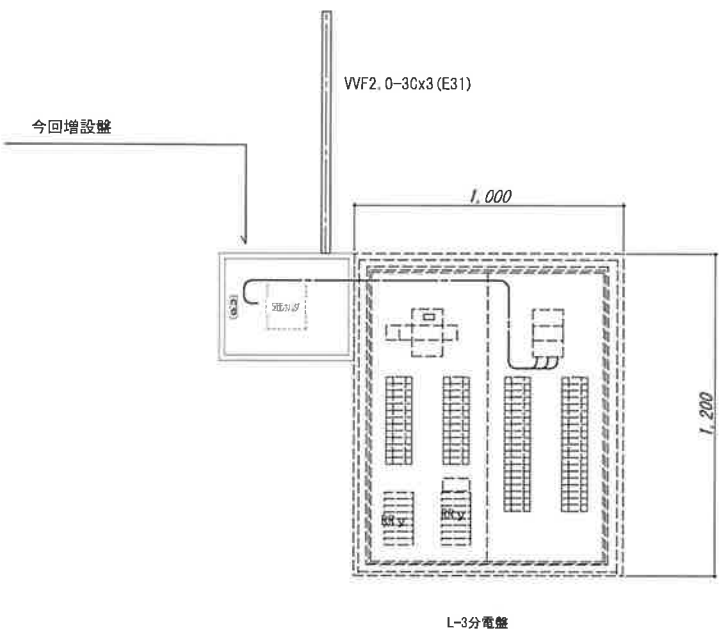
CV8° -4C

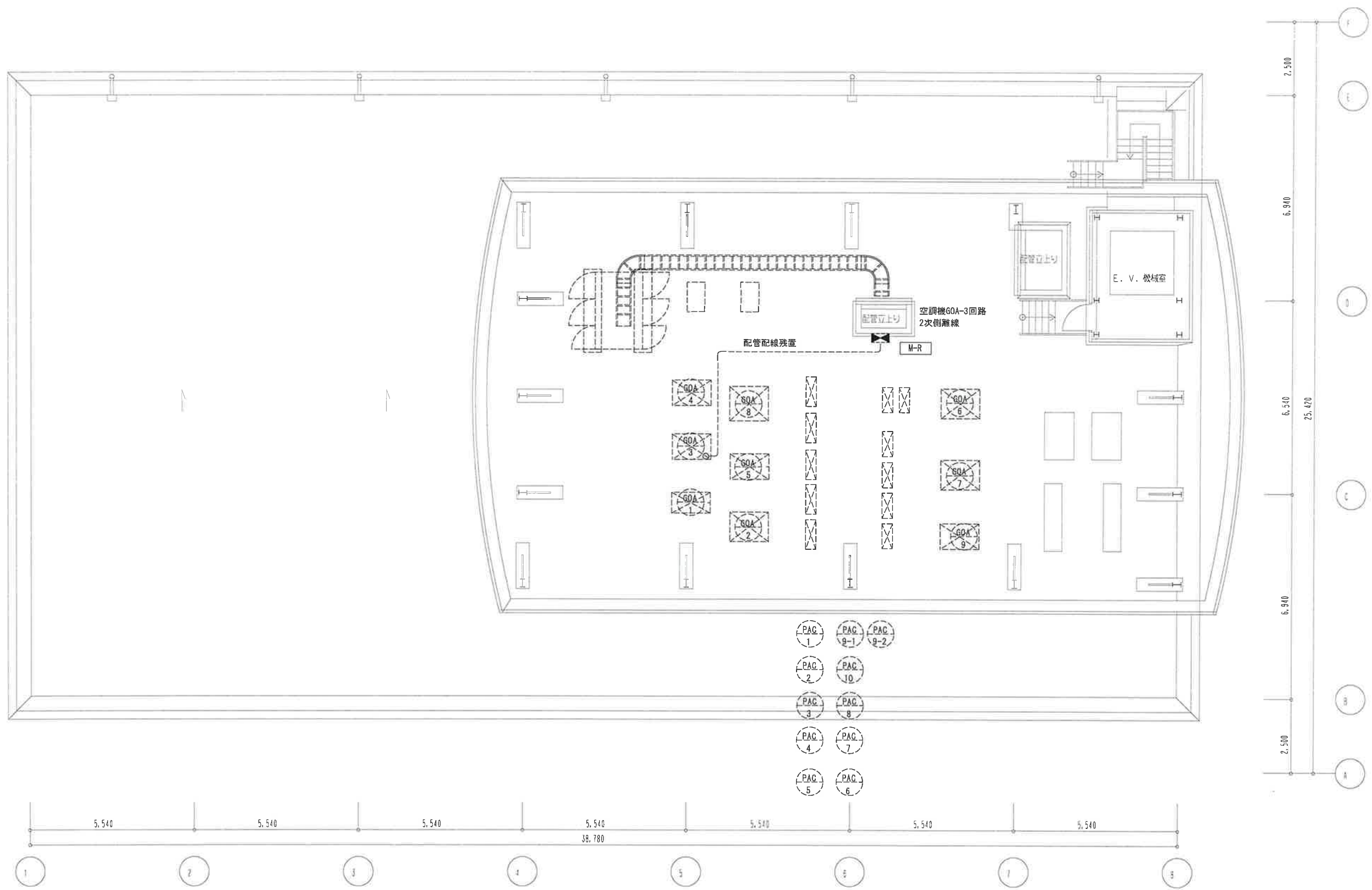
BE 増設分電盤

容量 (VA)	負荷名称	開閉器 AF/AT	番号
3220	青年部婦人会室空調機AC-1	50/20	(A1)
	予備	50/20	
	ｽｽﾞｰｽ	50/20	
	ｽｽﾞｰｽ	50/20	



番号	開閉器 AF/AT	負荷名称	容量 (VA)
(A2)	50/20	ﾋﾞｰｲﾝﾌｫｰﾐｪｰｼｮﾝ空調機AC-1	3220
(A3)	50/20	和室空調機 AC-2	2330
	50/20	ｽｽﾞｰｽ	
	50/20	ｽｽﾞｰｽ	





改修R階平面図 1/100 (A2)